

Floppy's Phonics Stage 6 'Change Gear! Steer!'

p.1

ナディムは毎年のように、お父さんと海岸に行っていました。

「ぼく、ここが好きなんだ」

p.2

ナディムはお父さんとゲームセンターに行くのが好きでした。ゲームセンターは桟橋の上にあります。

p.3

「ここって、ほんとうに面白いゲームがいっぱいあるんだ」

ナディムは言いました。

pp.4-5

ナディムはレーシング・エースというゲームを見つけました。

「わあ！」ナディムは言いました。「レースしようよ」

「よし、やろう」ナディムのお父さんが言いました。

「だが、ただひとつ確かなことがある。お父さんはレースの名人だということだ」

「勝つのはぼくだよ」

「いいや、私だ」

p.6

画面には、

“車を選ぶ”

と出ていました。

ナディムはリアスポイラーのついた車にしました。

p.7

お父さんは青い車を選びました。

ナディムの車とよく似ています。

pp.8-9

人々の歓声が聞こえます。

ナディムはハンドルを握りました。

信号が青になりました。

画面の合図は……スタート！

「がんばれ！行け！行け！」

p.10

「行くぞ」お父さんが叫びました。

お父さんはいきなりすごいスピードで飛び出して、最初のコーナーでスピンしてしまいました。

p.11

ナディムの車はハンドルさばきが大変でした。

車体が右に向いてしまいましたが、お父さんの車は通り過ぎました。

「うまい!」

p.12

道は急な登り坂になりました。その先は急カーブです。

p.13

「ブレーキは強すぎちゃダメだ」ナディムは言いました。「お父さんみたいにスピンしちゃうぞ」
—ブレーキ、ギアチェンジ、ステアリング—

p.14

今度は下りの山道です。

片側は絶壁でした。

p.15

ナディムはもう一度コーナーの入り口でスピードを落としました。

「さあ、追い抜くぞ!」ナディムのお父さんが叫びました。

「ふう!もう少しでスピンするところだった」

p.16

お父さんはナディムの車に後ろからあやうく衝突しそうになりました。お父さんは素早くよけましたが、コーナーを曲がる時にスピードを出しすぎてしまいました。

p.17

お父さんの車はスピンして、道路の外に飛び出してしまいました。

「残念だったね、お父さん」ナディムが言いました。

p.18

道路は森の中へと続いていました。ナディムの車は森の中の開けた所にやってきました。あ、大変!行き止まりです。

p.19

ナディムはしかたなく、元来た道を引き返しました。

「残念だったな、ナディム」お父さんが言いました。

「まいったな。道をまちがえちゃったよ」

p.20

レースはゴール寸前です。ナディムはとにかくお父さんの車を追い越さなくてはなりません。最後のコーナーが見えました。

p.21

ナディムは大胆な行動に出ました。すき間を見つけて、アクセルを踏み込みました。そしてものすごいスピードでコーナーを横切って、さっと通り抜けたのです。

p.22

ナディムは勝ちました。周りにいた人たちも大騒ぎ。

“勝者 5327 ポイント ナディム”

「今年のベスト・ドライバーだ！」

p.23

「なんてこった！」お父さんは言いました。「ああ、もう少しだったのに。でもナディム、よくやったな」

p.24

「また来ようね」ナディムが言いました。

「ああ、だがこの次は勝てないぞ」とお父さん。

「またぼくの勝ちだよ」